

ひらぼう 第39報

2021年11月号

皆さんお久しぶりです。
昨今のコロナ情勢のため、ひらぼうの発行も不定期になってしまっていますが、今回もようやく完成しました！

今月号は、久しぶりに実施した作成系イベントである、「大人のぬりえ」の作品紹介と、ひらぼう作成会議のまとめとなります。

ひらぼう作成の苦勞なども知れる興味深いイベントだったので、皆様も作成の裏側を楽しんでもらえたらと思います。

大人のぬりえ ぬ～りぬり



感想コーナー

思った以上に時間がかかったよ

コーディネーター池田の作品を載せ忘れたのが残念だよ

配色を考えるのが大変だったよ



作品介绍





作品介绍



密着！ひらぼう作成の裏側！

現在のひらぼうは、ひらぼの利用者が作成しています。
そのような体制になってから、既に1年以上が経過しました。
時間が経つと共に、色々な意見や不満、改善点などが明らかになってきたので、そのことについて皆で会議を行いました。この記事はそのまとめとなります。

現在の問題点

・ひらぼう作成の偏りと負担

会議参加者の作業が多くなる、不平等さが見られる。
参加した人だけで作成しなければならない。

・意見の出しづらさ

意見を言うとそれをやらざるをえなくなる。
つまり、意見を出しづらい。

・来てない人へのお願いが難しい

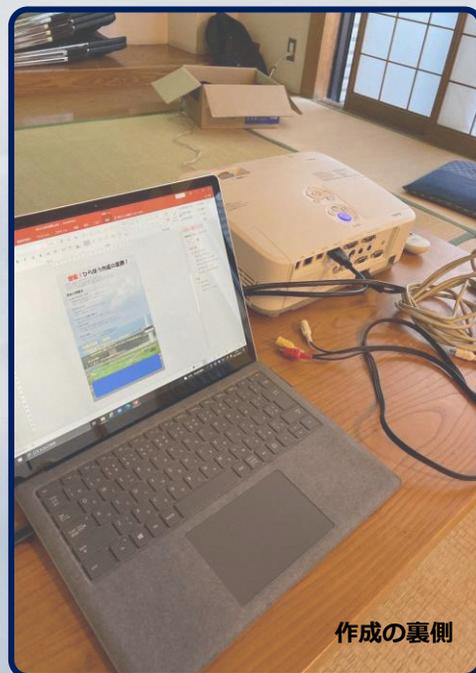
連絡が取れないのにどうやってお願いするのか....

・ひらぼうの目的

何かを成し遂げる企画での達成感について感じてほしい。
その一環としてひらぼう作成があれば良いのに今は負担だけ。

・届かない感想

読んだ人からの良かったという好評の意見がある。
しかし、フィードバックがないので今は負担だけ。



今後の方針（希望）

・ひらぼう作成の偏りと負担 & 来てない人へのお願いが難しい

→ 面談の場でととな側から促していく。
ひらぼう作成は、編集と文字おこしのみにするなど、作る側の負担を減らす。

・届かない感想

→ 良いフィードバックを利用者などに伝えてもらう。

以上のような意見が出ました。

今回の会議での参加者の意見などは、いろんな変化がひらぼで起こったことの影響も入っていると思います。

オンラインひらぼ、参加者だけで作るひらぼう作成などなど。
しかしこの会議は、ひらぼをよりよくするための良いきっかけになったのではと、そう感じます。
今後は今回出た意見を踏まえて、より楽しくひらぼうを作っていけるとよいのかなと思います！

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子どもの育ち見守りセンター **ととな** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / F A X : 072-846-7952

当センターでは、相談・居場所「ひらぼ」・家族の会を行っています。